

a r c h i t e c t c a f e



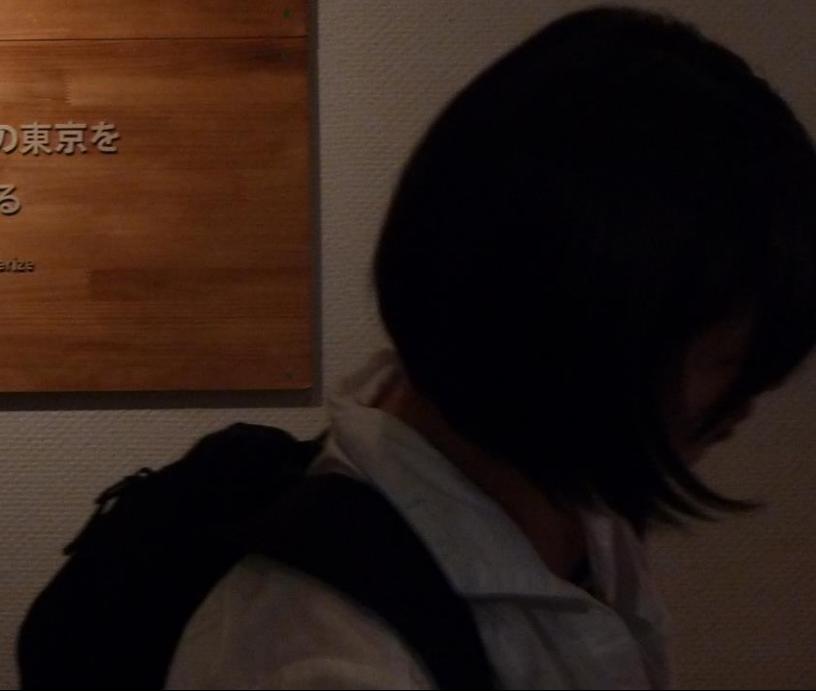
Works with Timber Spirit

Egurtec 2014, Bilbao

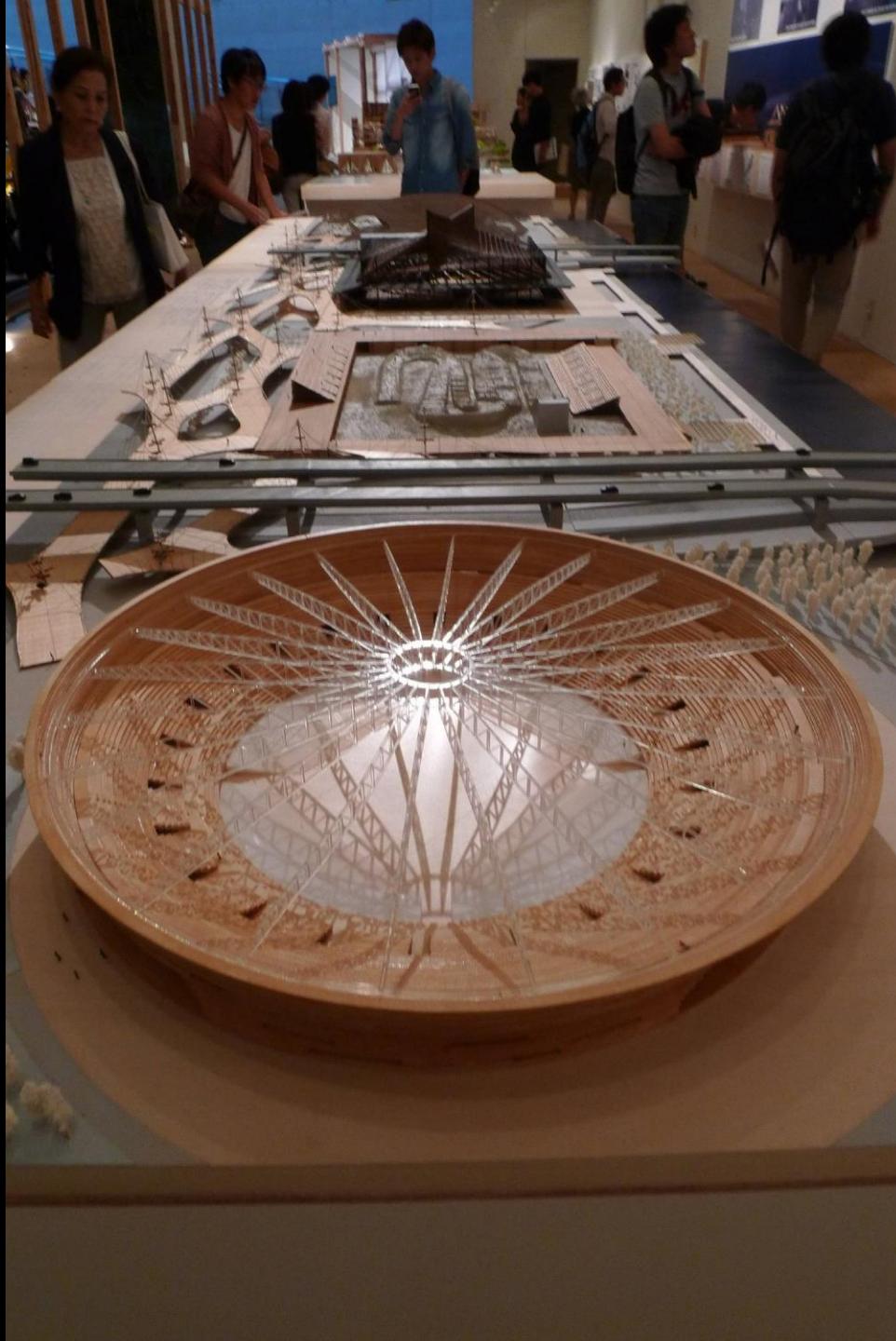
Timberize TOKYO 2020

都市木造が 2020 年の東京を
未来へつなげる

主催：NPO 法人 team Timberize













Ise Shrine





Horyuji Temple





Works of architect cafe

variation of timber usage

Waffle House

2002





House in Senkawa

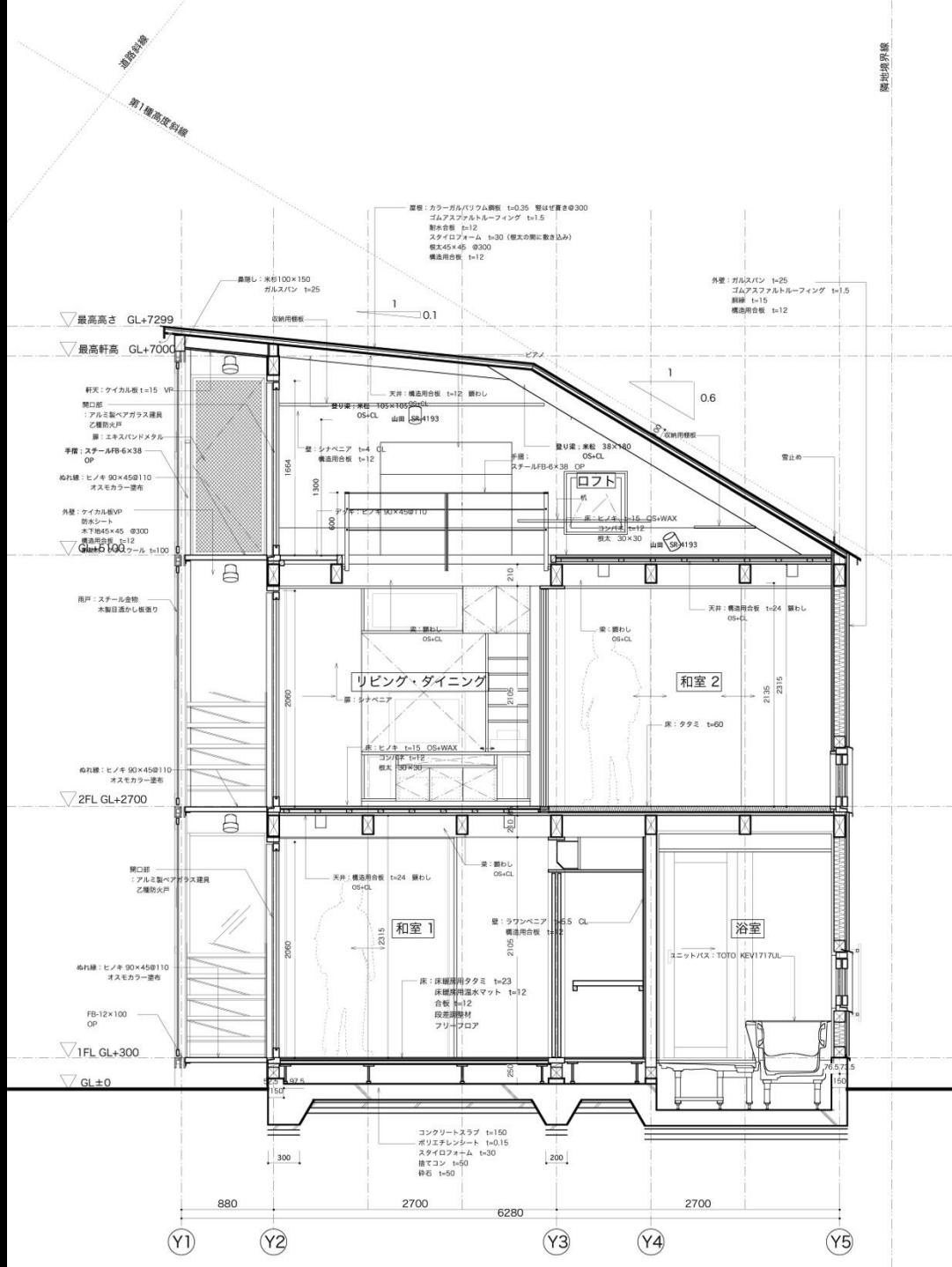
2002



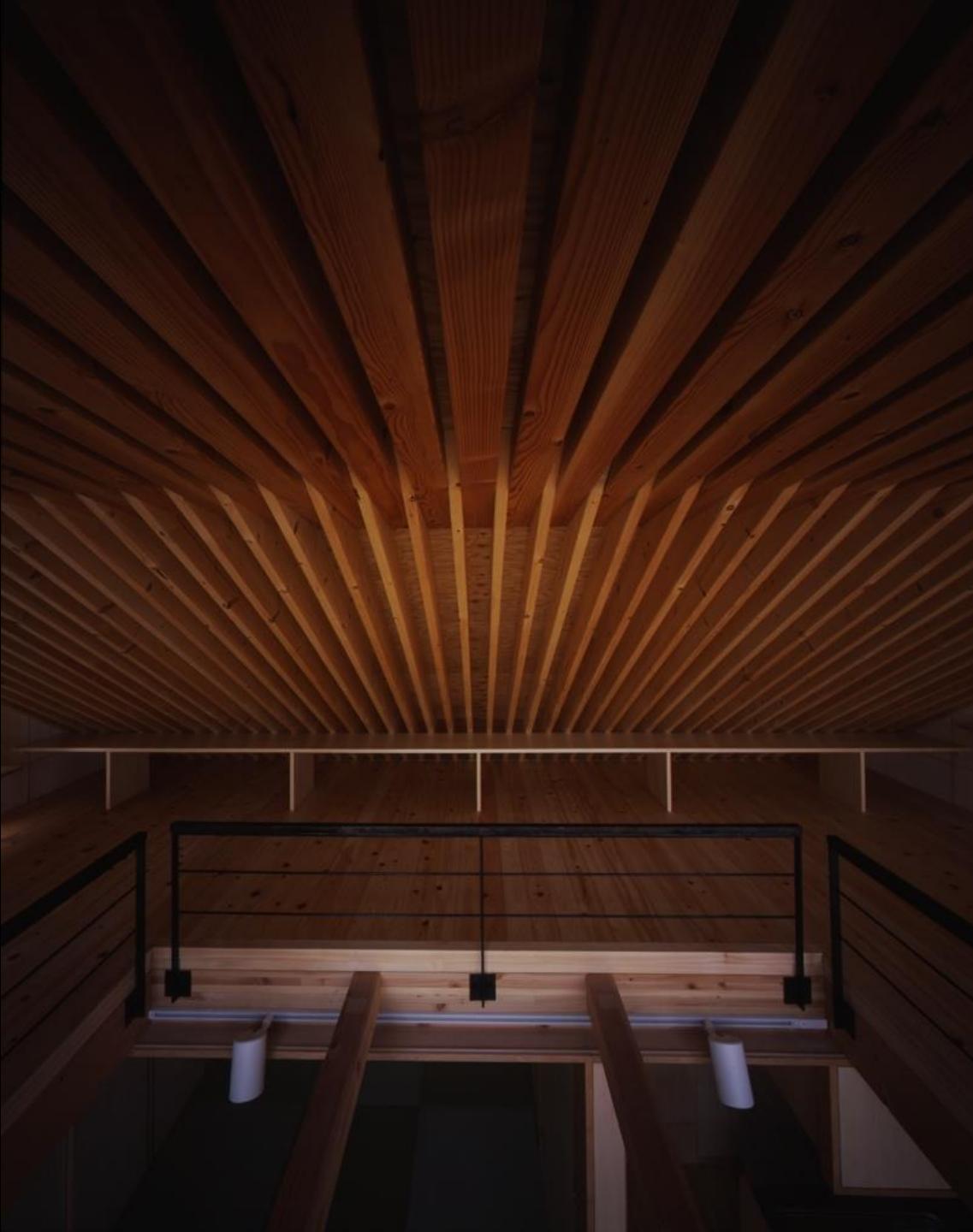








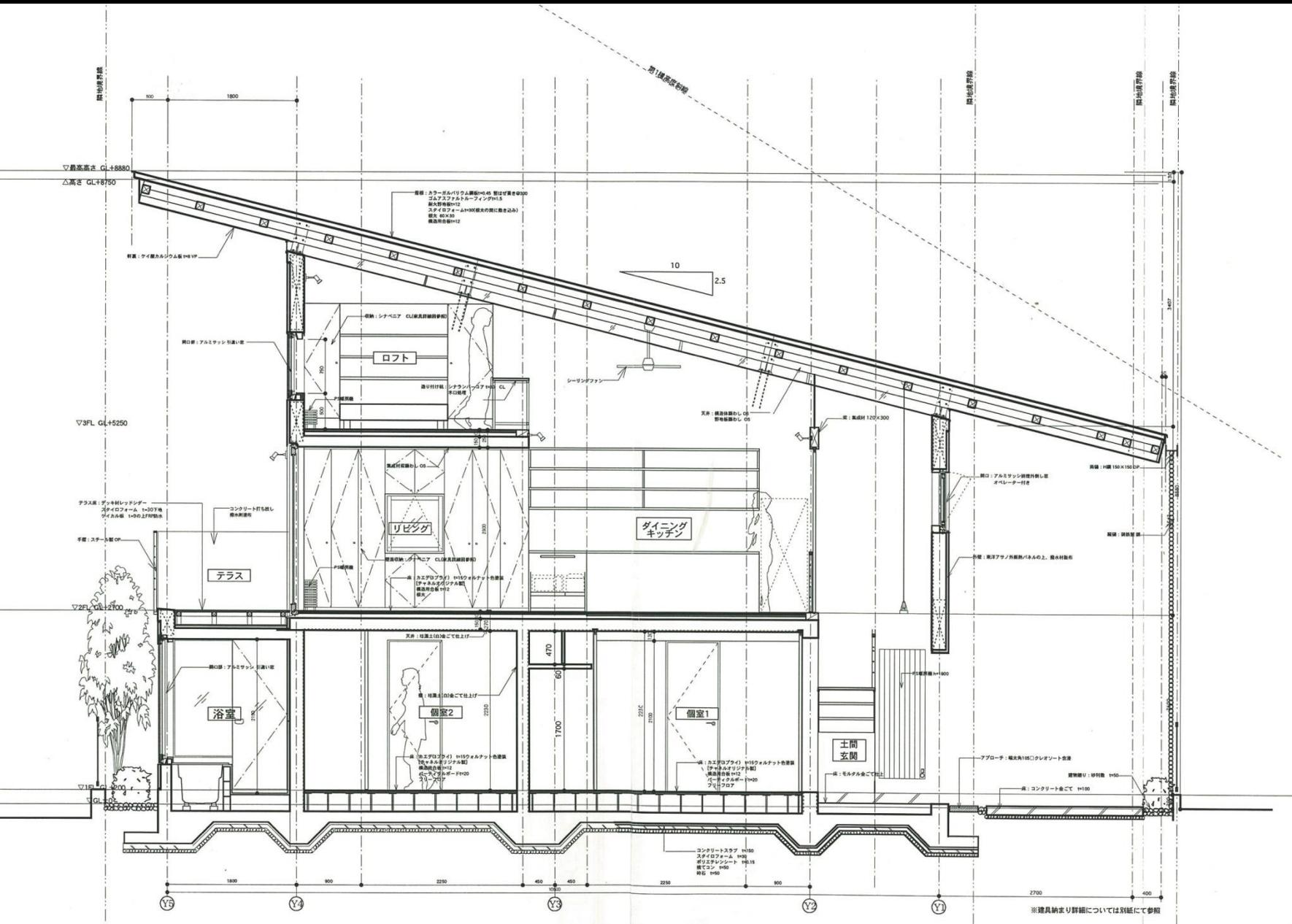




House in Chitose-funabashi

2003





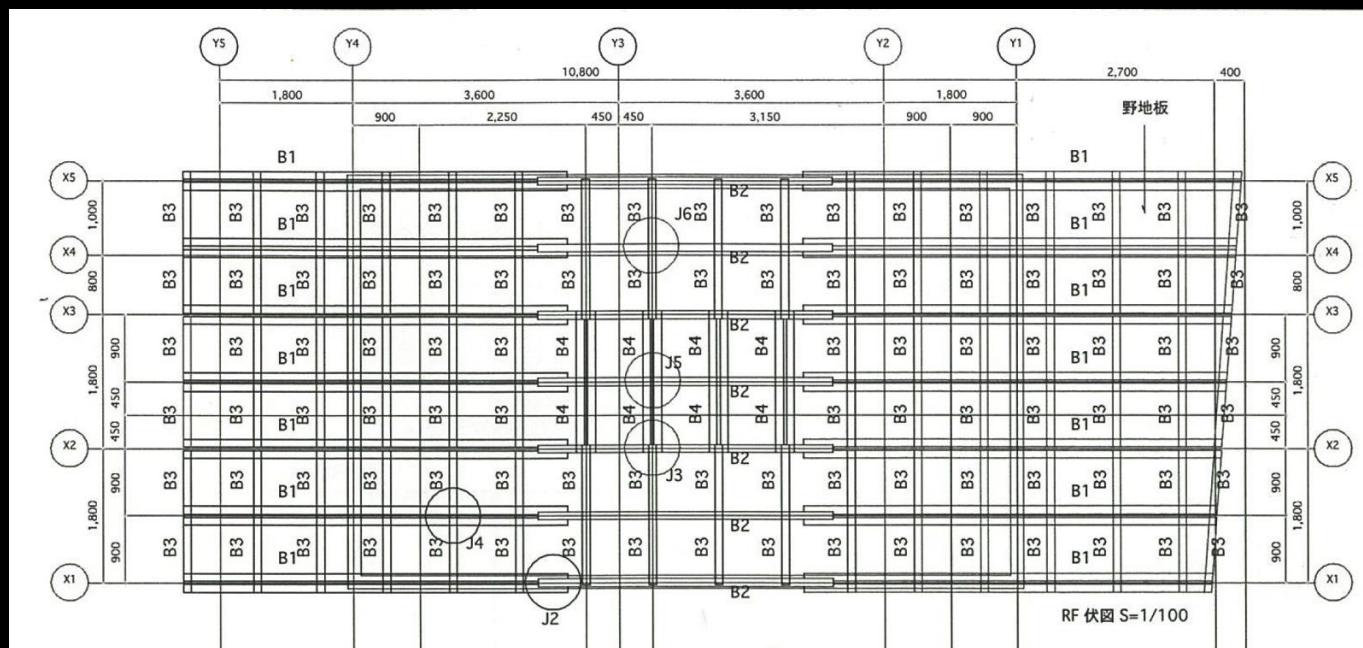
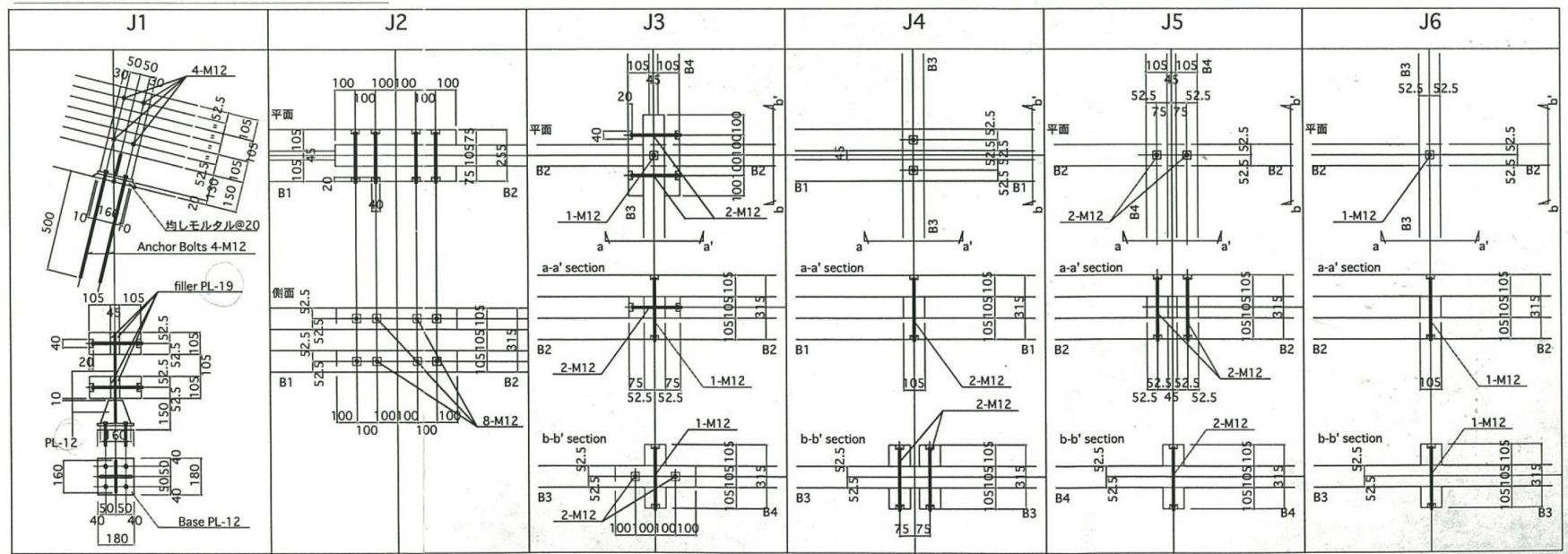
※建具納まり詳細については別図にて参照







屋根部材ジョイントリスト 1:30

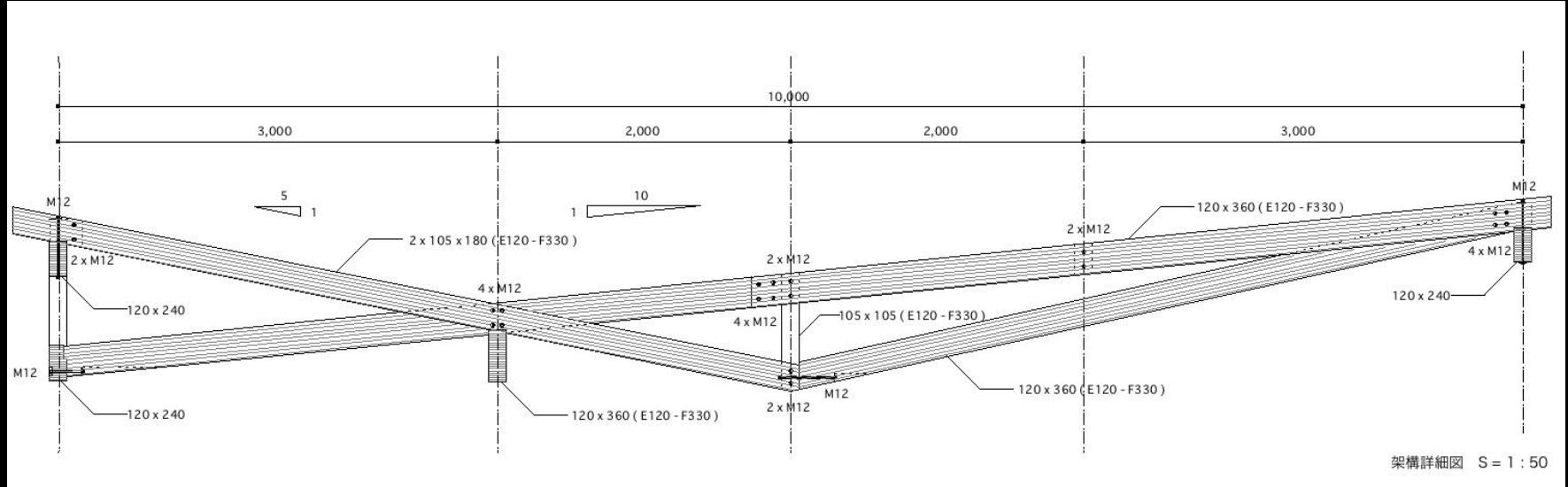


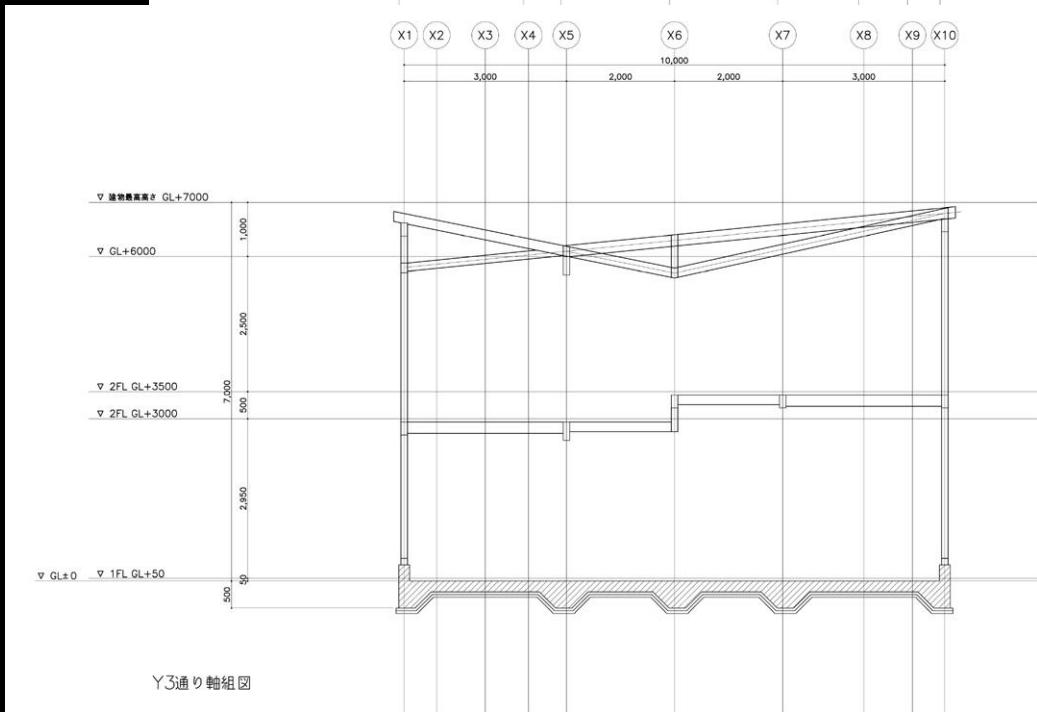
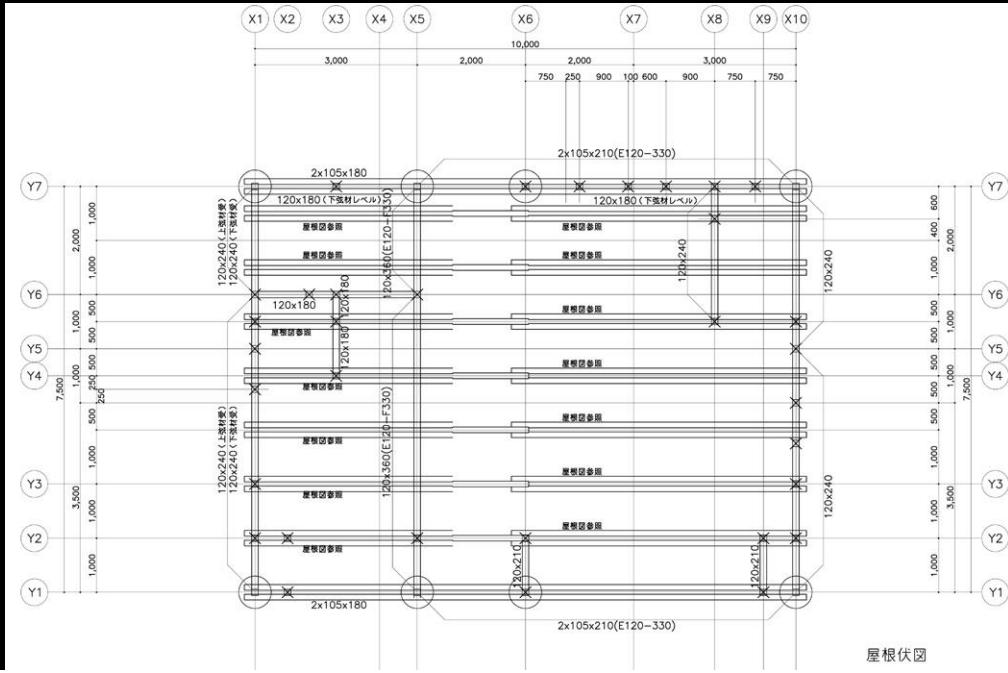
House in Hadano

2009











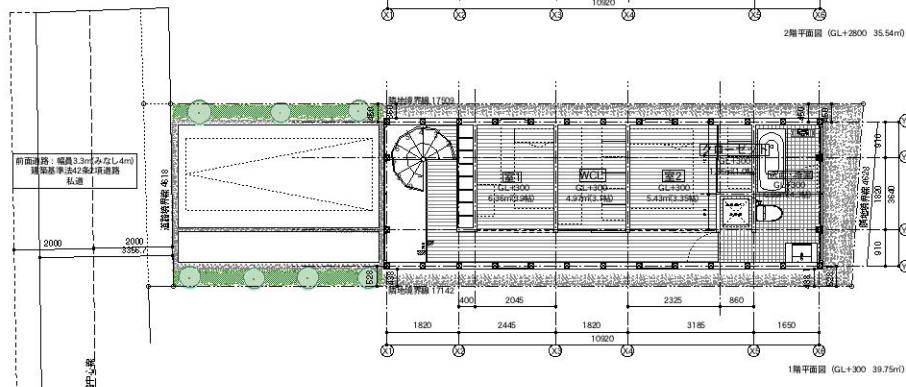
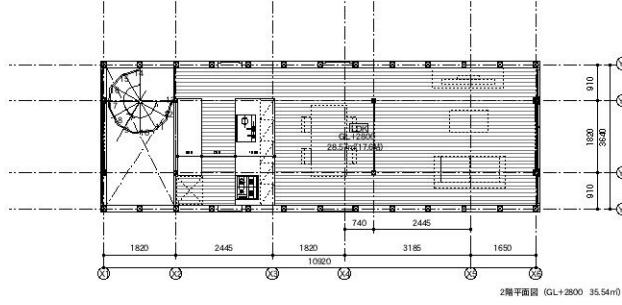
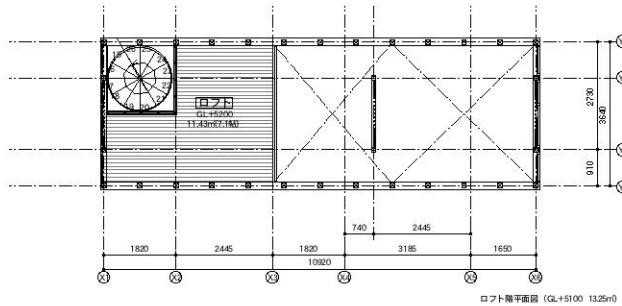
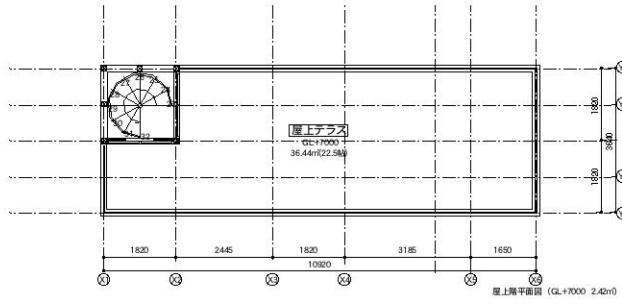


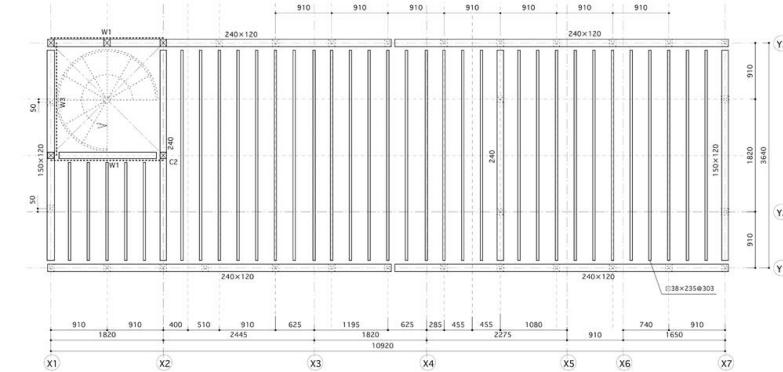
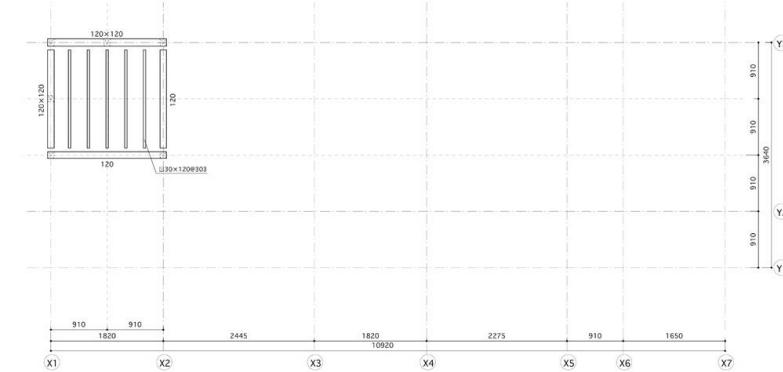
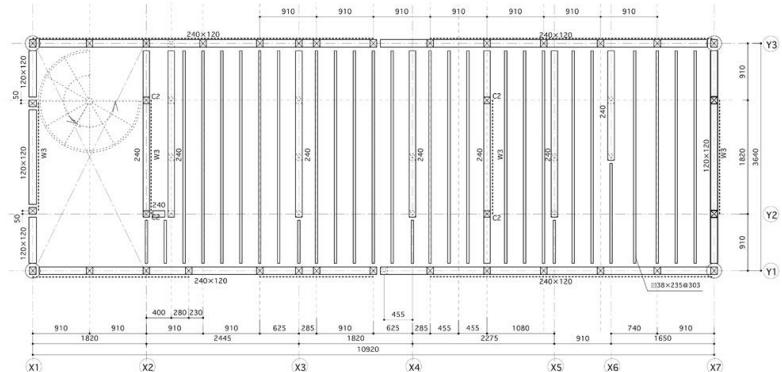
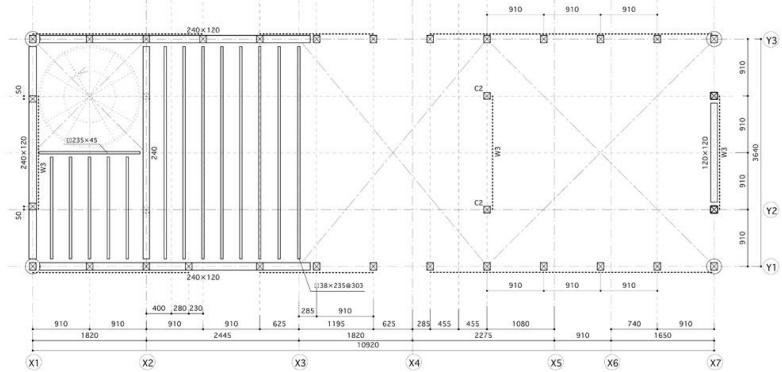


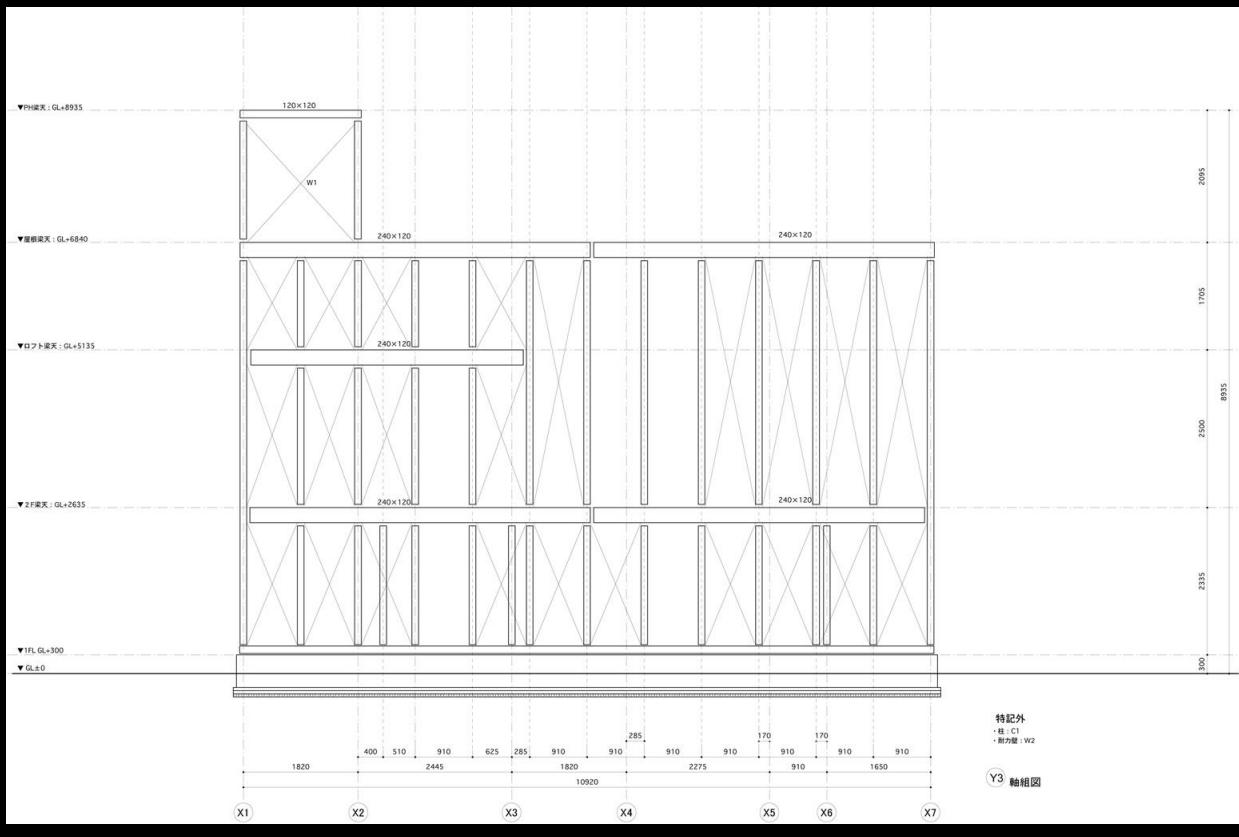
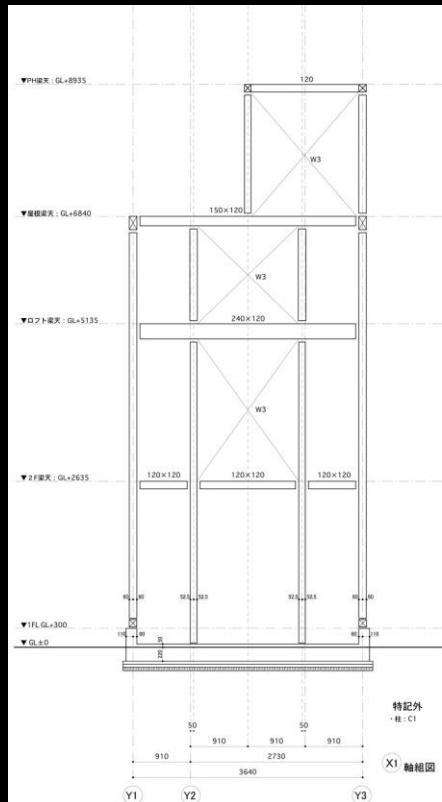


Tunnel House in Todoroki

2011























House in Kamiaso

2011



















House in Waga-zaimokuza

2010



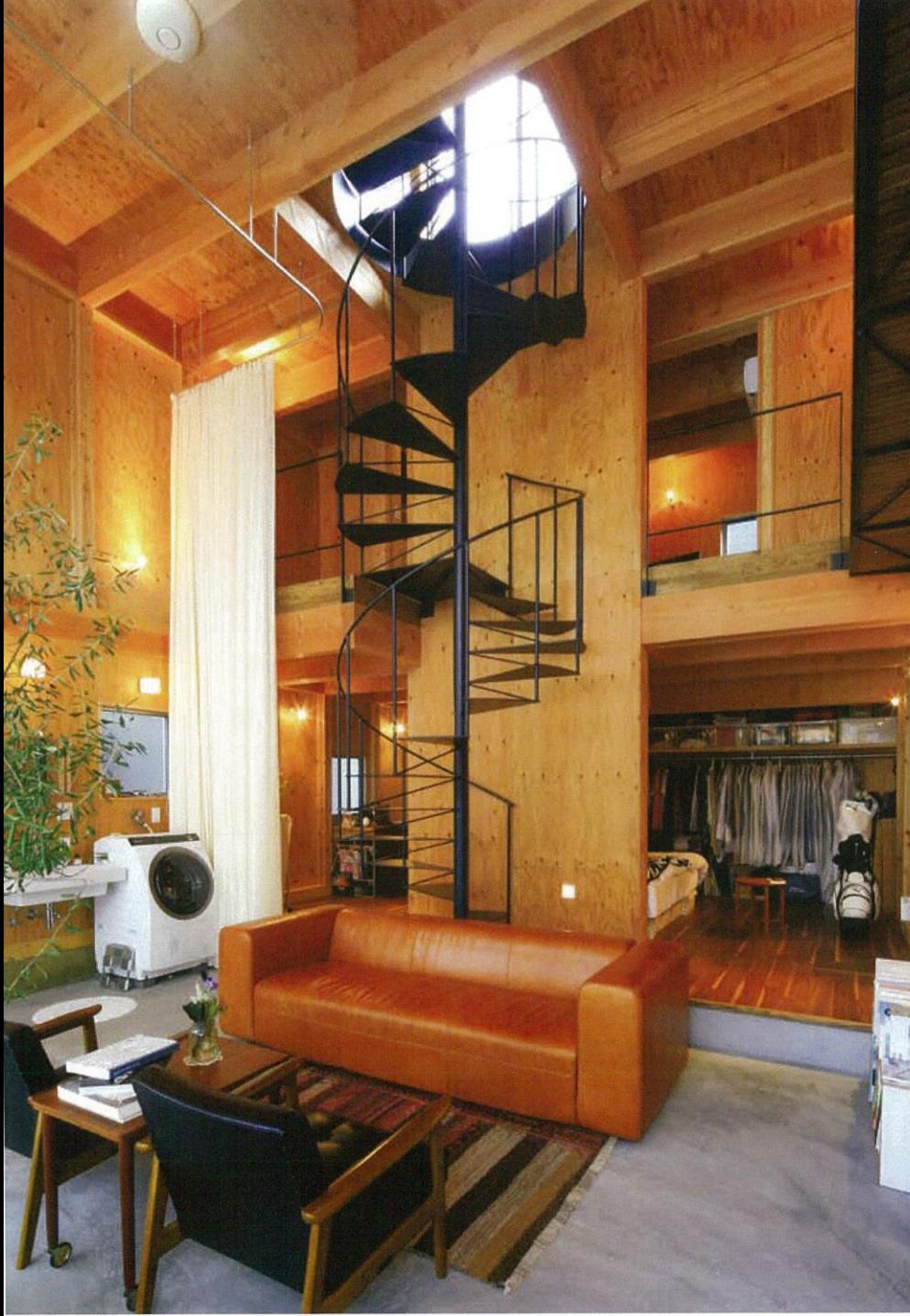




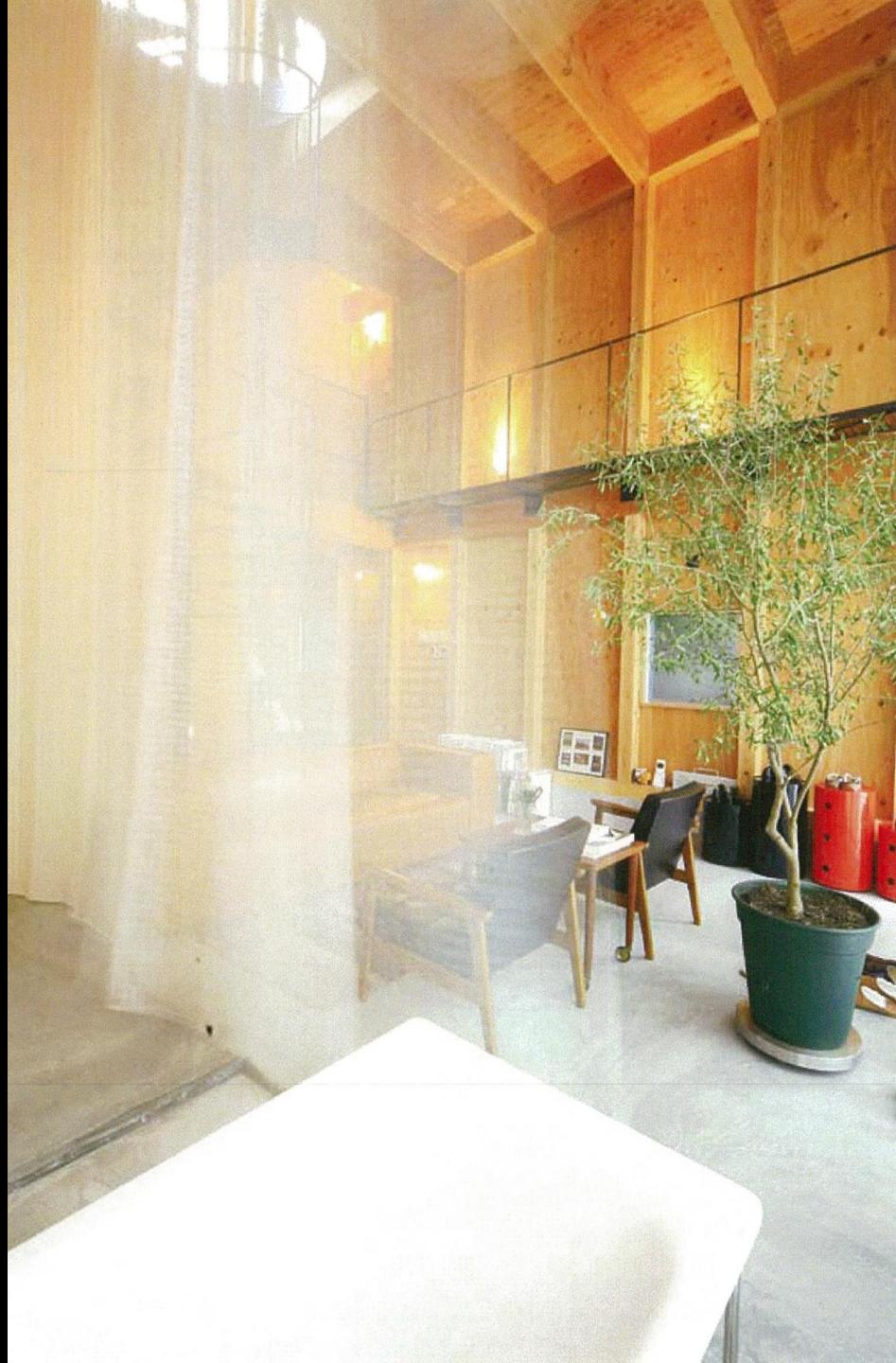
















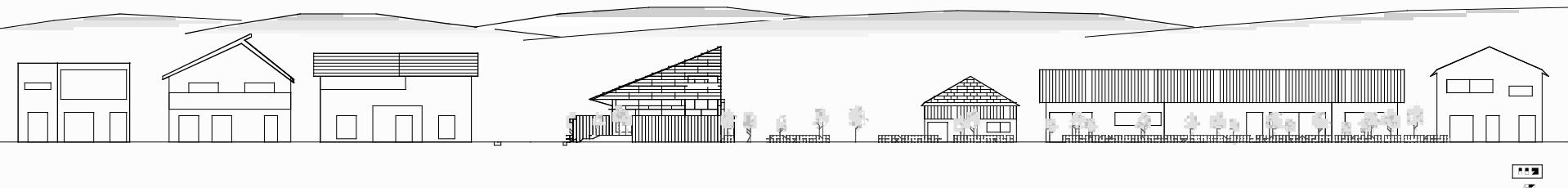




Large Roof House in Sano

2011





1





























House in Matsubara

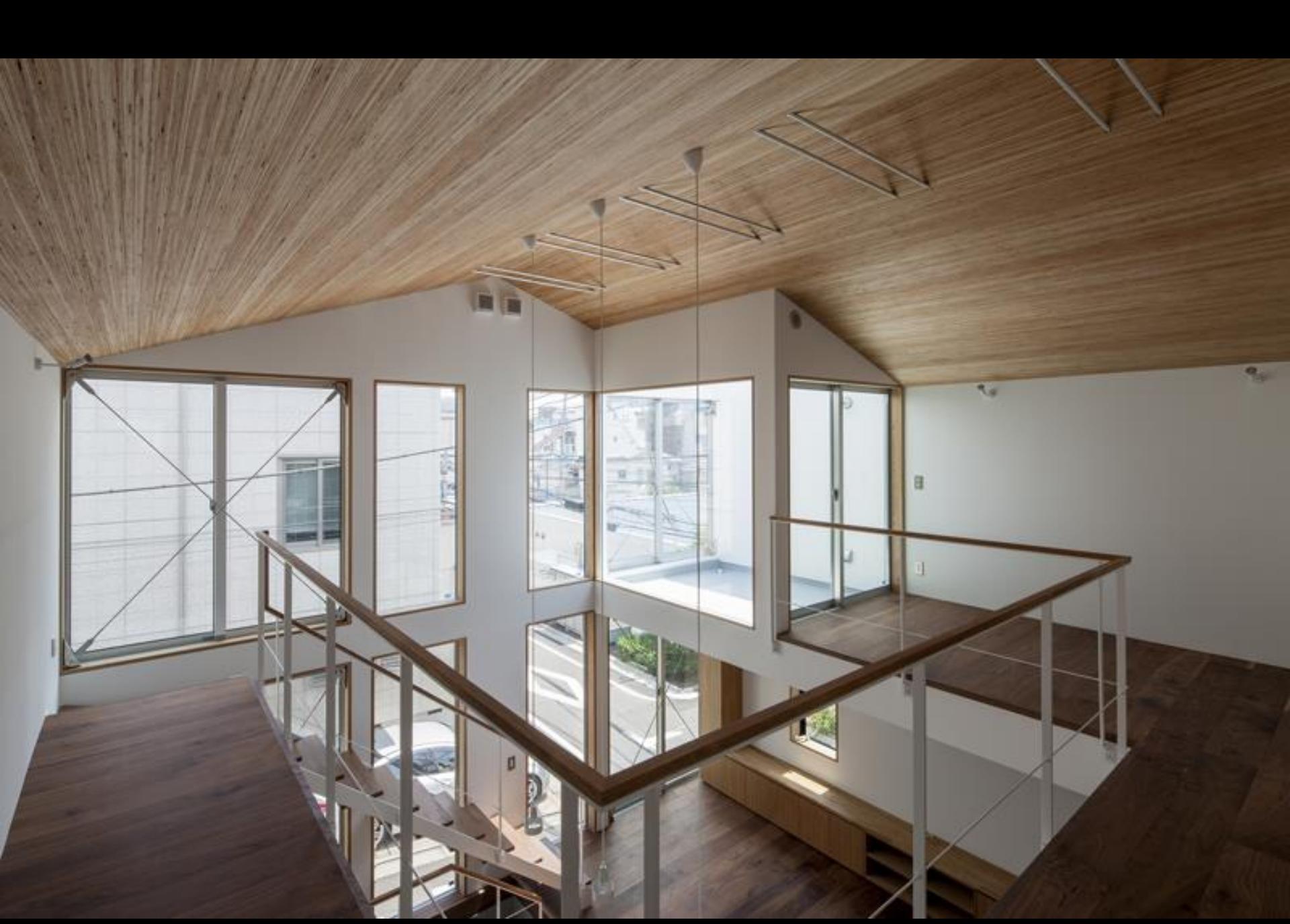
2014



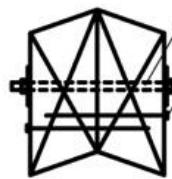




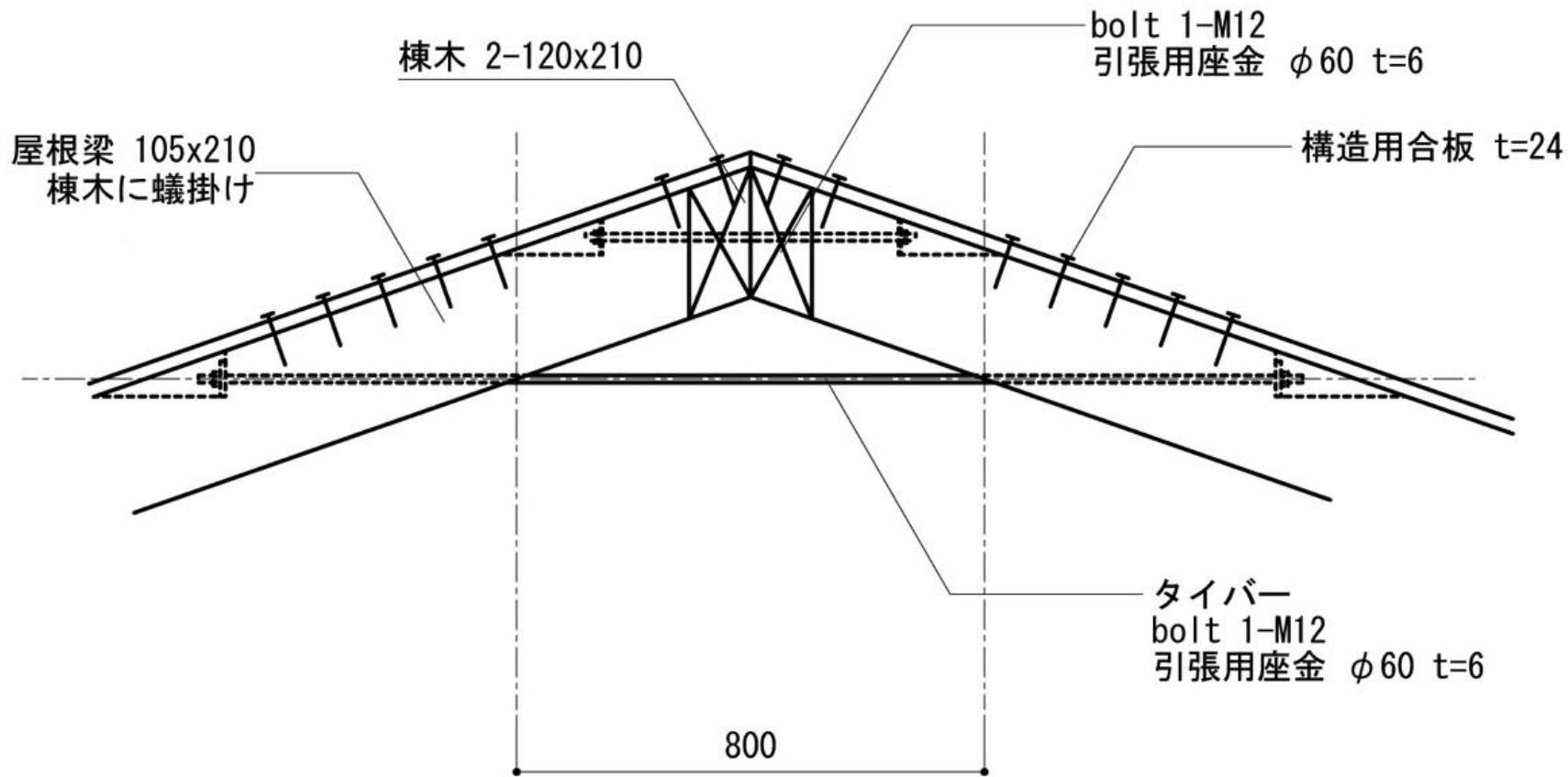








bolt 1-M12 @910 ※屋根梁接合箇所の中間で接合する。
せん断用座金 $\phi 40$ t=3.2
パネリードⅡ⁺ P6×185 @910 ※ビスを併用する。



A-A' 断面

Satoh Dental Clinic

2014

テナント募集

オーナー直営店舗
1F
1F
2F
2F
3F
3F

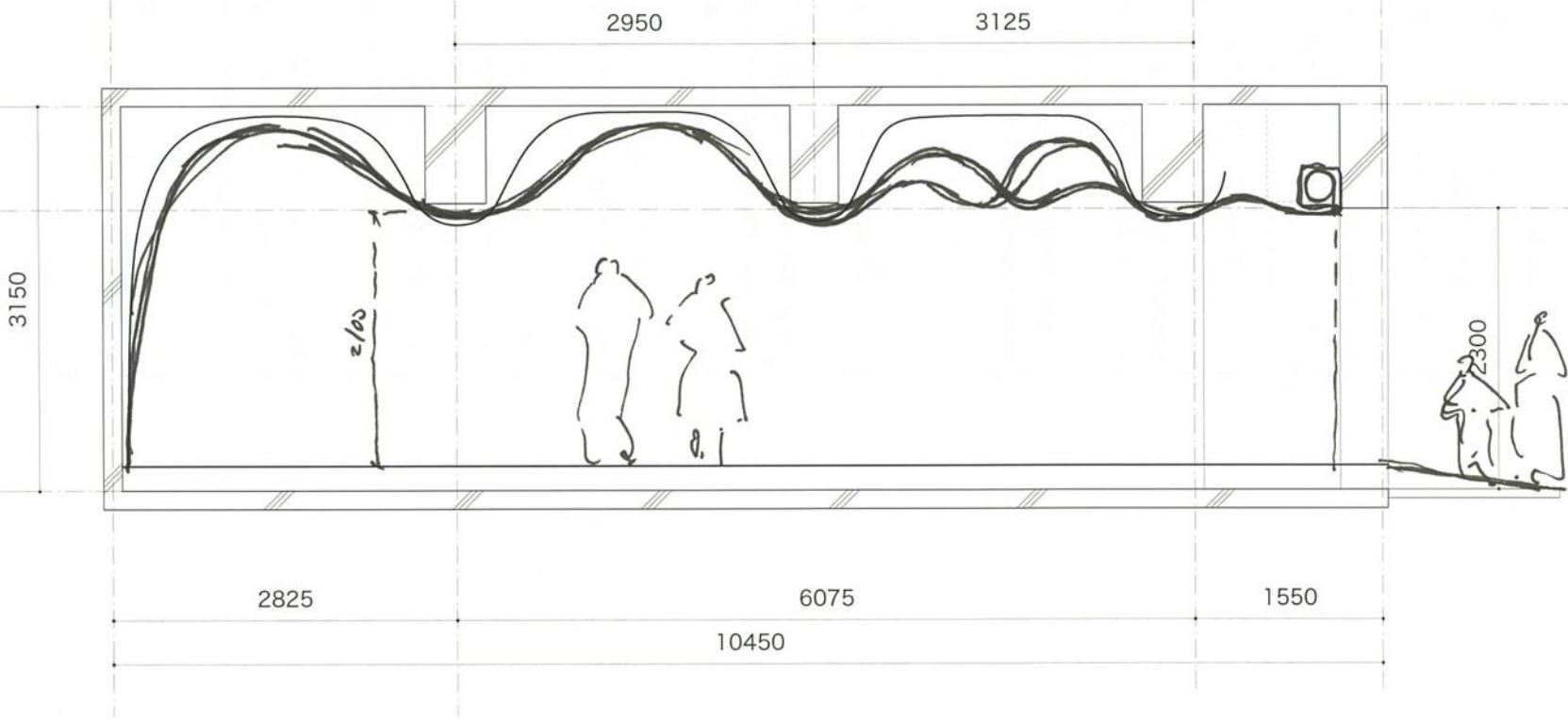






さとう歯科
Saito Dental Clinic























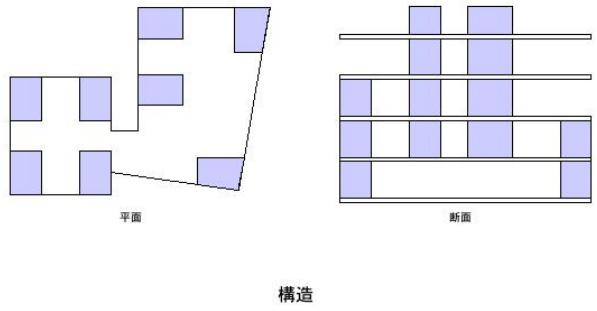
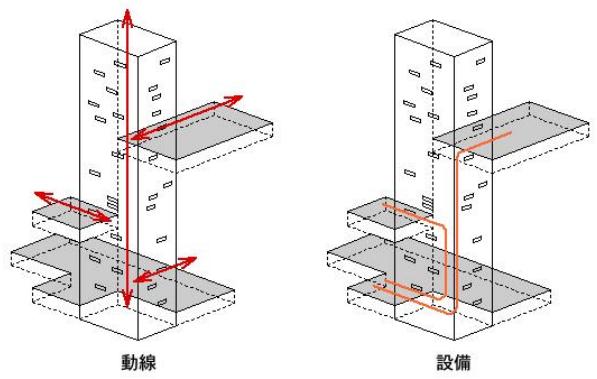
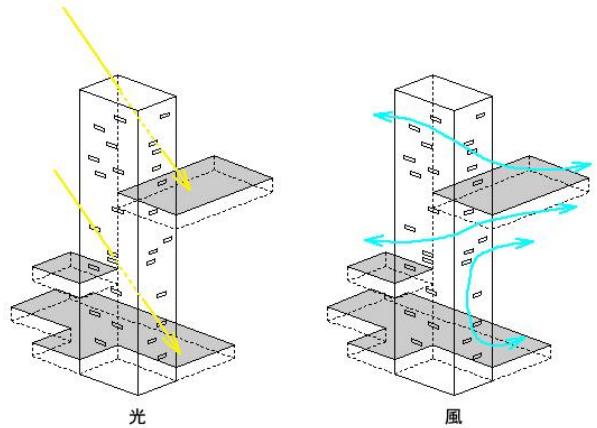


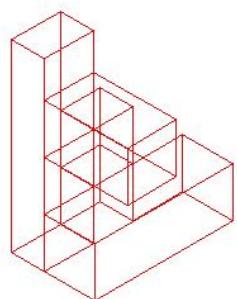


Yotsuya Housing <keels>

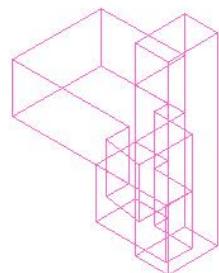
2008



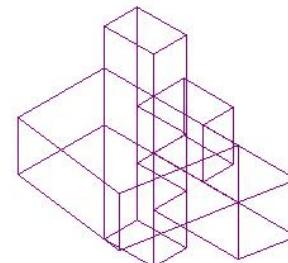




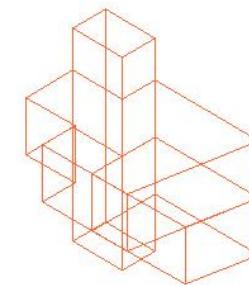
C



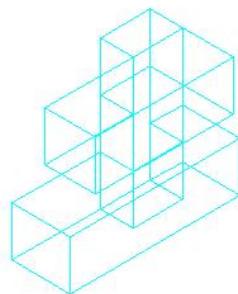
F



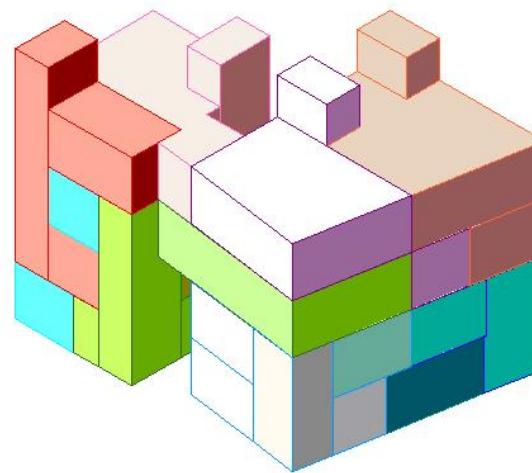
H



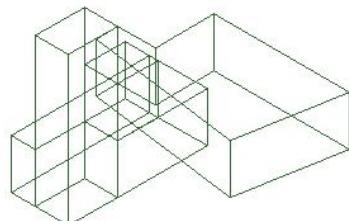
I



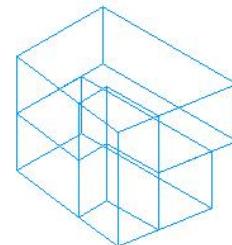
E



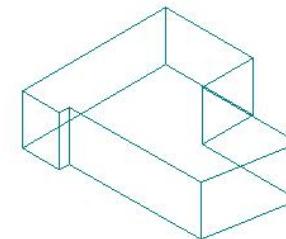
B



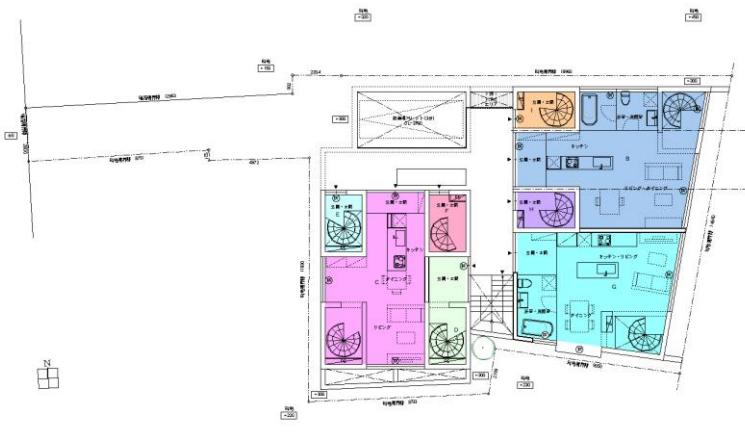
D



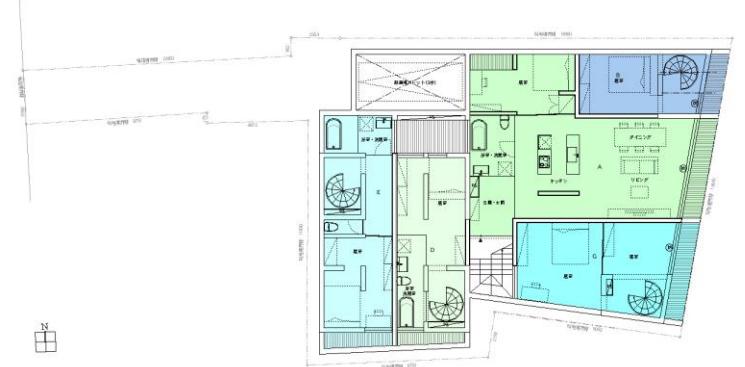
G



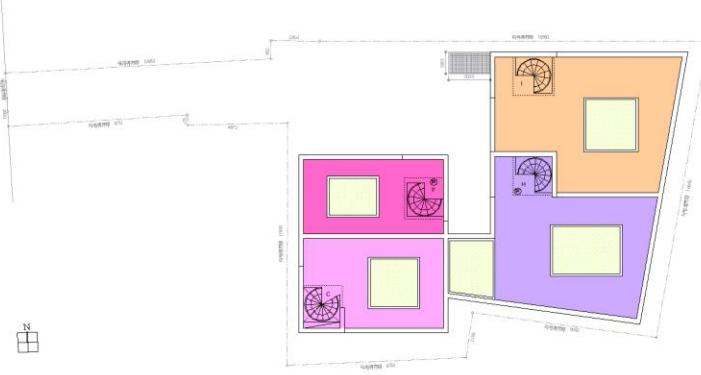
A



1F



B1F



RF



3F



2F















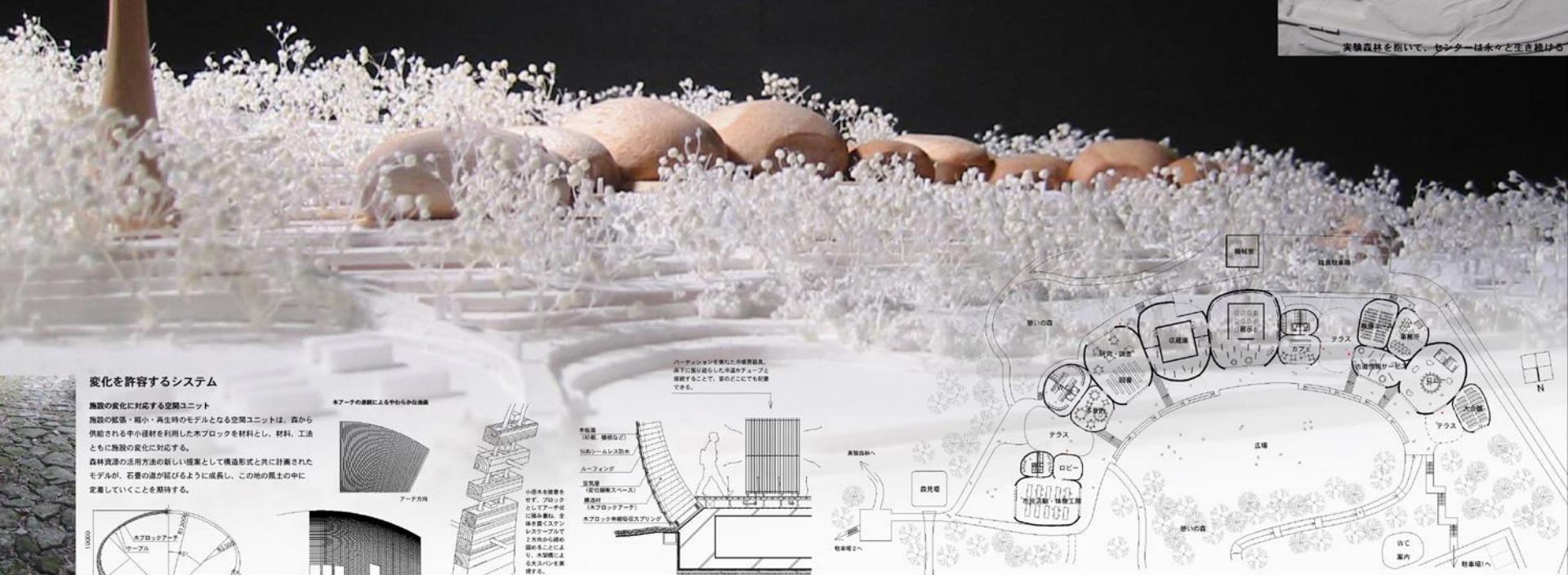




KUMANO-KODO

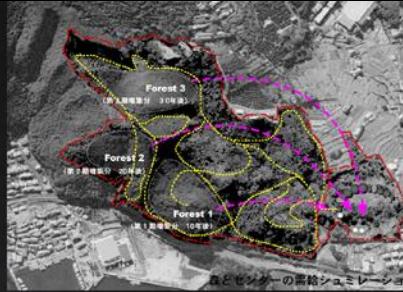
弱くて強いもの

いくら強調なもので作られていたとしても、幾世紀を超えて存在できるものは少ない。通う人が途絶えれば、たちまち埋もれてしまう道のような存在がこうしてここにあること、その事実に、訪れたものは静かな感慨を感じずにはいられない。弱くて強いもの・・・長い時間の中での環境の移り変わりを受け入れ、しなやかに変化していくもの、存在を支える強い精神性をもったもの、自然と共にあるもの。時代を超える強さをもった、変化に対応する建物のあり方を三重県熊野古道センターに託し、古道の世界遺産としての意義を伝えるシンボルとなることを期待する。



変化を支えるサイクル

空間ユニットの価値・再生を支える実験森林
次世代の森林利用を提案する実験森林では、空間ユニットとともに人に森との関係が授 役されたものとなる。その姿、変化を見つめる場所として、木の場所を設計した。
隣接するセンターと森林を見渡すことで、森林全般と活用のモデル、木が誕生してから利 用され打ち荒らまでのサイクルを体感でき るものとなる。

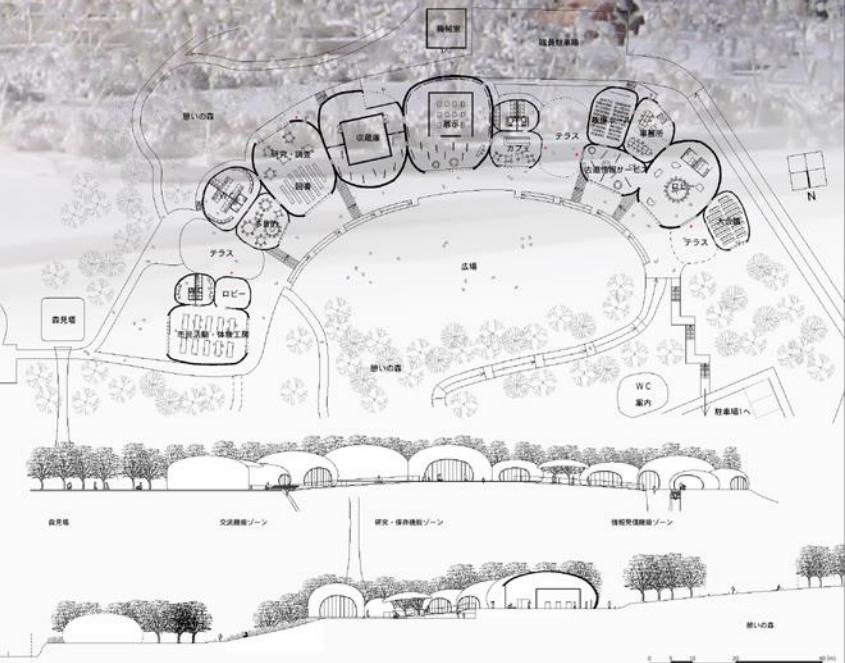
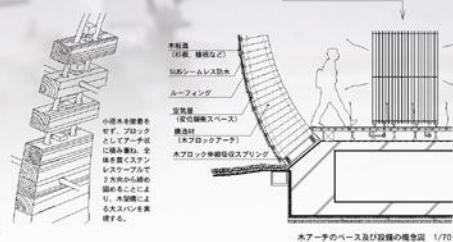
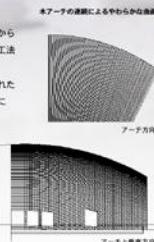


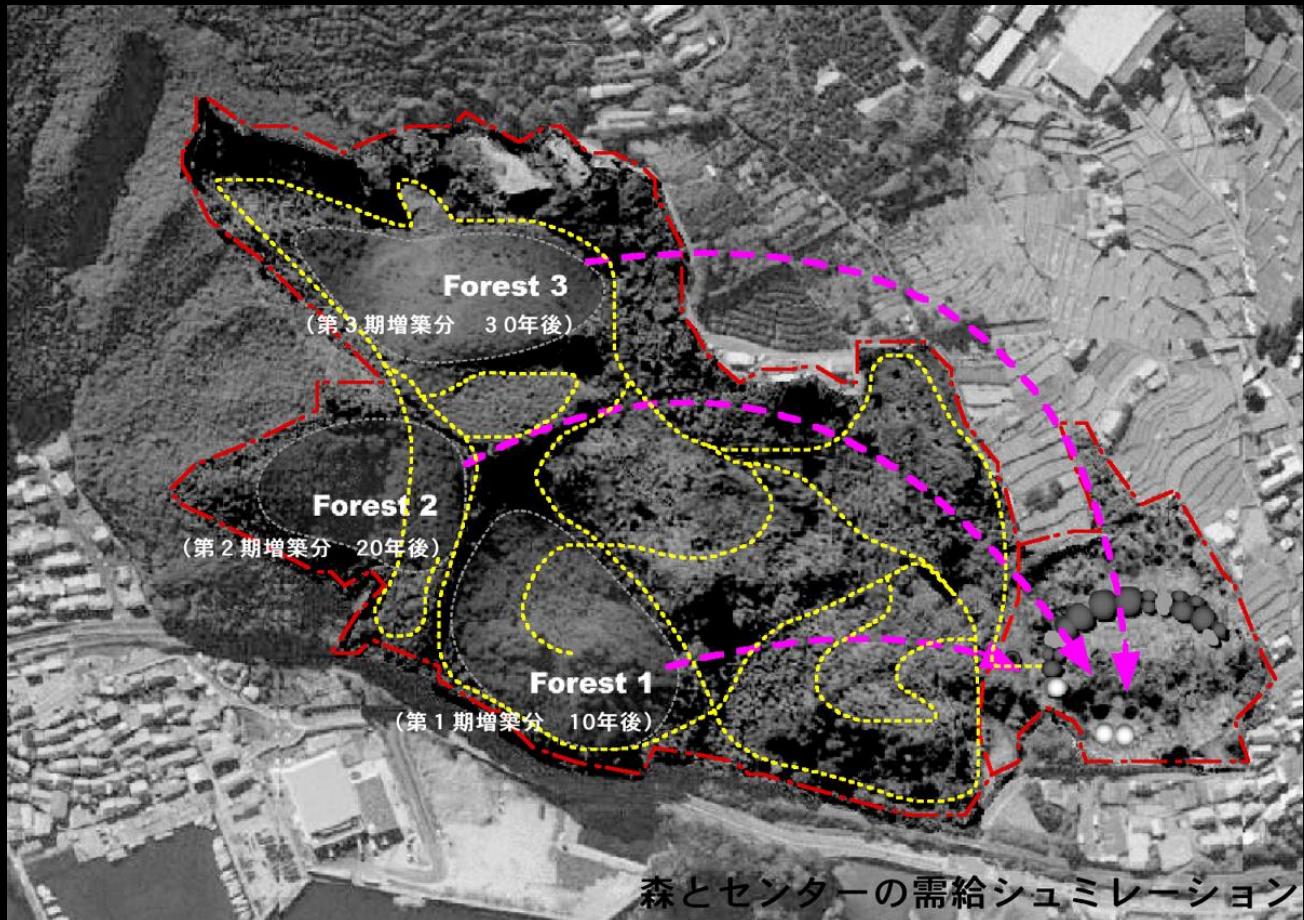
変化を許容するシステム

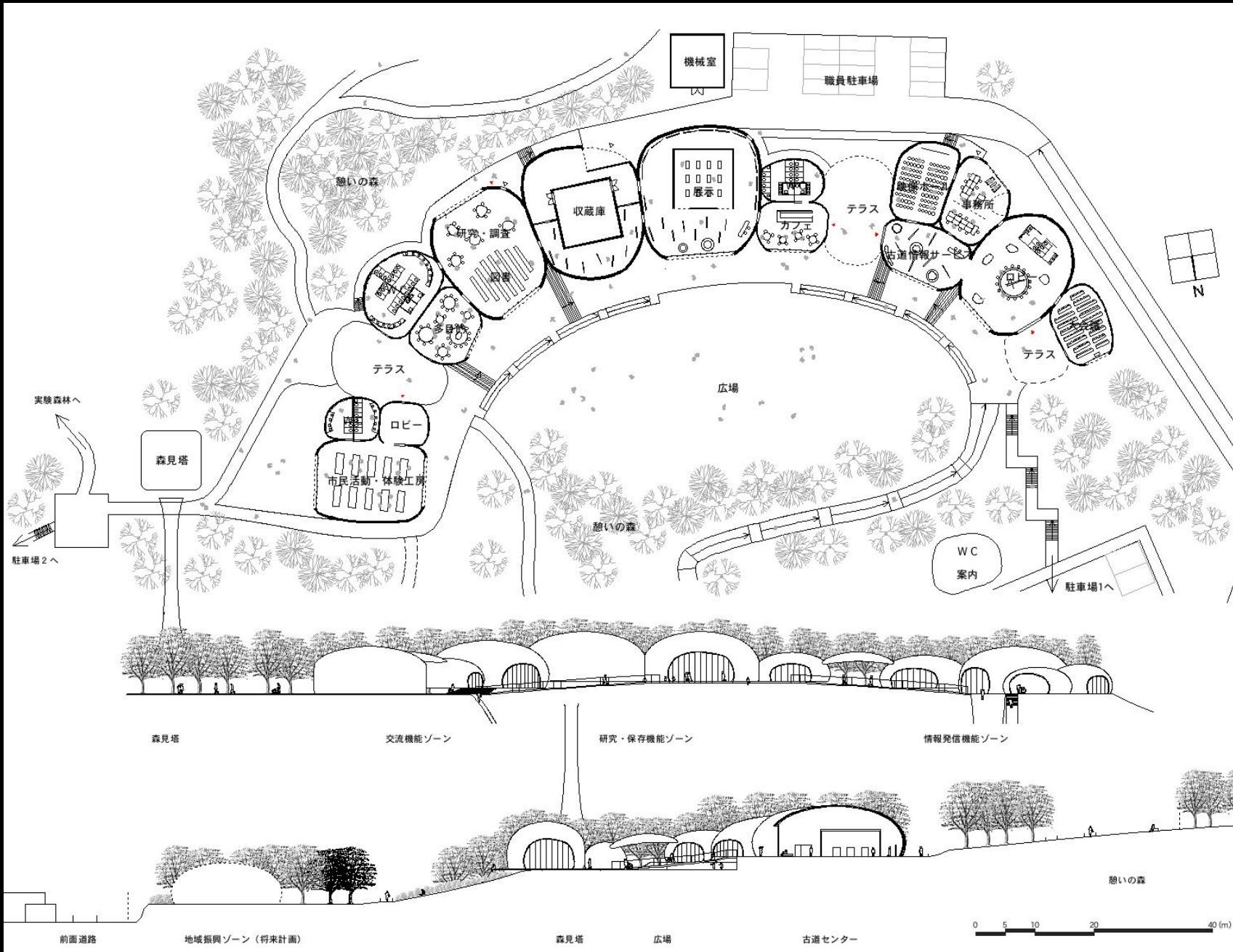
施設の変化に対応する空間ユニット

施設の拡張・縮小・再生時のモデルとなる空間ユニットは、森から供給される中小直径を利用した木ブロックを材料とし、材料、工法ともに施設の変化に対応する。

森林資源の活用方法の新しい提案として構造形式と共に計画されたモデルが、石畳の道が伸びるように成長し、この地の風土の中に定着していくことを期待する。





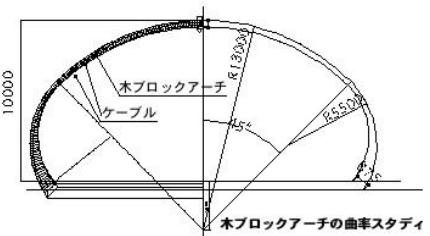


変化を許容するシステム

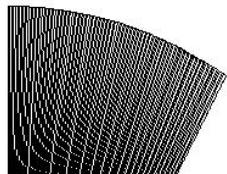
施設の変化に対応する空間ユニット

施設の拡張・縮小・再生時のモデルとなる空間ユニットは、森から供給される中小径材を利用した木ブロックを材料とし、材料、工法ともに施設の変化に対応する。

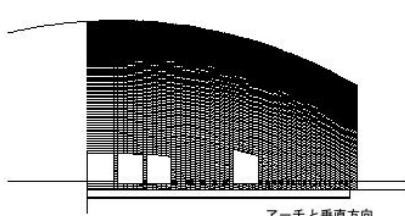
森林資源の活用方法の新しい提案として構造形式と共に計画されたモデルが、石畳の道が延びるよう成長し、この地の風土の中に定着していくことを期待する。



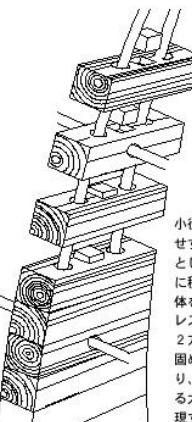
木アーチの連続によるやわらかな曲面



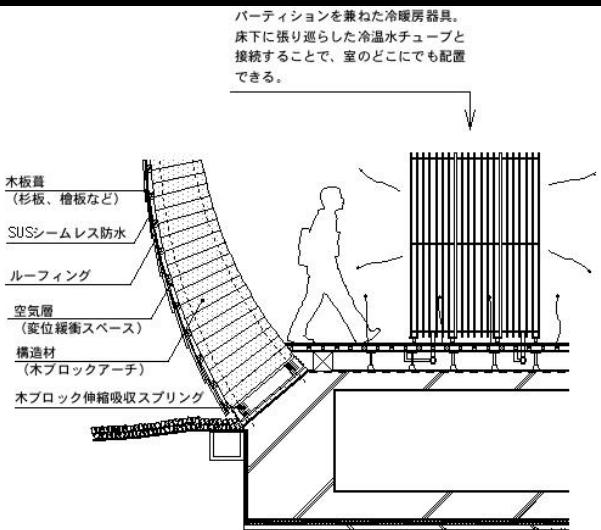
アーチ方向



アーチと垂直方向



小径木を接着をせず、ブロックとしてアーチ状に積み重ね、全体を貫くステンレスケーブルで2方向から締め固めることにより、木架構による大スパンを実現する。



木アーチのベース及び設備の概念図 1/70





